

お知らせボード

○ボランティア募集中！（『フリースクールみなも』より）

フリースクールみなもでは随時ボランティアさんを募集しています！現在、募集している役割は大きく2つ。

- 1：子どもたちと一緒に楽しい時間を過ごす
- 2：学習支援のサポーター

昨年度後半から子ども達がかっくと増えてきました！たくさんの方のご協力、ぜひともよろしくお願い致します！



詳しくはこちらから！

○『親カフェ』『父親カフェ』参加者募集中！

フリースクールみなもでは、原則毎月第4土曜に「親カフェ」（不登校の子を持つ親の会）、隔月第2土曜日に「父親カフェ」（不登校の子を持つお父さんの集まり）を開いています。不登校のお子さんを持つ保護者の皆さんに、お互いの気持ちを共有し合える場を提供することを目的した会です。みなもの会員であるかどうかにかかわらず、どなたにも参加していただけます。参加をご希望の方は、お気軽にお問い合わせ下さい。



親カフェサイト



親カフェ Facebook



父親カフェ Facebook


○賛助会員・カンパのお願い

当法人は、何らかの事情により学校に通うことできない不登校の子どもたちでも安心して過ごせる社会の実現のため、日々活動しております。

しかし、本来教育とは公の支援なしにできるものではありません。例えば私立の学校などでも、生徒保護者からの学費の他、私学助成を受けることで成り立っています。ですが私もフリースクールの場合、公の支援制度がないことから、そうした子どもたちに学校と同程度の教育を用意することにさまざまな困難が伴っております。

つきましては、もし当団体の活動やその意義に賛同いただける際には、ぜひとも皆様のご寄付を賜りたく存じます。子どもたちの活動をより充実させるため、何卒皆様のお力をお貸し下さい。

よろしければ以下により詳しく、当法人について記載しておりますので、ぜひともご覧下さい。

<p>■ご寄付の方法</p> <p>郵便局に備え付けの「郵便振替 払込取扱票」より、右の振替口座にお振り込みください。その際、備考欄に以下の必要事項をご記入下さい。</p> <p> 詳しくはこちらより。</p>	<p>口座記号番号：00960-0-204146</p> <p>加入者名：フリースクールみなも</p> <p>備考欄：氏名・ご住所・電話番号・(E-Mail アドレス)・寄付の種類・口数（賛助会員の場合）をご記入下さい。</p> <p>寄付の種類：</p> <p>賛助会費…年度更新により、毎年定期的にご寄付いただく会員。                  一口 3,000 円で、任意の口数。                  寄付金…1 回限りの寄付。任意の金額。</p>
--	--

『フリースクールみなも通信』第 27 号

発行者：特定非営利活動法人フリースクールみなも（理事長・今川将征）

発行日：2019年9月1日（本号5頁）

編集担当：今川将征

○特定非営利活動法人 フリースクールみなも（2005年6月15日認証＝大阪府指令府活第2-58号）

住所：〒530-0044 大阪市北区東天満 1-4-3 TEL・FAX：06-6881-0803

（地下鉄谷町線・堺筋線「南森町」駅から徒歩7分 JR 東西線「大阪天満宮」駅から徒歩5分）

E-Mail：[fs-minamo@nifty.com](mailto:fs-minamo@nifty.com) URL：<http://fs-minamo.org>（右記QRコードより）



■2018年度 卒業生より

今年度もフリースクールみなもからはめでたく4名の子どもが卒業、それぞれの道に旅立って行きました。またボランティアさんも2名、3月を持ってみなもを「卒業」です！今回は2名の子どもと、2名のボランティアさんから卒業のコメントをいただきました！

HN：ろもやま

20歳・男・フリースペース会員

本格的に通い始めた高2の春から、3年ほどお世話になりました。通っていた時期ごとに違いはありますが、最後まで一つのものにのめり込む姿勢だったと思います。

2年前にみなもで始めたのがきっかけで、麻雀のプロになることが出来ました。プロといっても、最初からお金ももらえるわけではないので、仕事と言えるかわかりませんが、一応将来の道を作って卒業することが出来ました。

みなもという場所があったことで、安心してのめり込むことが出来た事により、今の自分があると思っています。

みなものみんなに感謝を込めて、この文章を終わります。



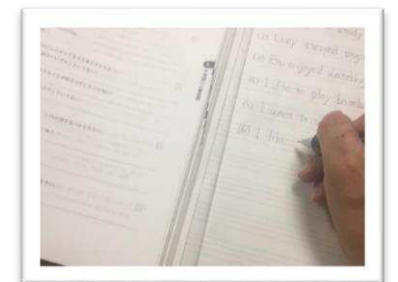
HN：ガノン

14歳・男・会員体系：学習会員。

私は中一のときから体調が悪くなり、フリースクールに通うことになりました。

フリースクールでは全教科の定期テストの勉強をしつつ、家で友達とゲームなどで遊んでいました。

私はこの約1年ちょっとで勉強もちゃんと中学校についていけていたので今もあまり困らず高校の勉強をできてますのでフリースクールに通ってよかったなあと思っています！



HN：寺本

22歳・女・ボランティア・大学生

■約2年半お世話になりました。

大学2回生の夏、何かボランティアを始めたいと思い、個別指導塾みなもで働き始めました。最初はフリースクールについての知識がなく不安でいっぱいでしたが、英語を教えるボランティア活動、そして塾講師や家庭教師をさせていただき、本当に充実した2年半でした。ここまで続けることができたのは間違いなく、周りの優しいスタッフや元気な子どもたちのおかげです。教える立場ではありましたが、逆に、教えてもらうことや、みなもで学んだこともたくさんあり、教師を目指している私にとっては得るものすべてが貴重なものでした。生徒に勉強を教えることや、生徒とのコミュニケーションの取り方など、少しではありますが、みなもで働く前の自分と比べて成長できたのではないかと、思っています。



週1回でしたが、2年半も続けると思い出もたくさんありますし、今教えている子どもの卒業を最後まで見届けられないさみしさもあります。そう考える

と、みなもを見つけ、ここで働きたい、と思い、挑戦したことは本当に正解でした。みなもで過ごした時間は一生忘れないです。だからこそ、子どもたちにも、自分がやりたい、と思ったことには、恐れず何事にも挑戦して行ってほしいです。

私は今年で大学を卒業し、高等学校で常勤講師として働きます。みなもでの2年半の経験が活かせるよう頑張ります。本当にお世話になりました。ありがとうございました。

HN：五十子

24歳・男・ボランティア・大学生

五十子はてんでシフトを入れない者なので、はじめて名を目にする方もおられるのではないのでしょうか。私が（つまりは僕が）みなもへ来たのは2017年の6月のこと。俯瞰するに2010年代は、2000年代に妙なテンションを伴ってかつてないくらいに拡大した日本のオルタナティブ界隈のうちで初速から巡航速度に移行するものと停止するものが分かれる岐路であったように見えました。そう嘯いてはみますが五十子の目的は教育的効用とか社会的意義とかいう最大最前提のバイアスを排して見聞することにあつたので、あまり真面目は語りません。

私のもっぱらフリースペース部門、あの4階から6階にかけて居座っていた者でした。麻雀であれスマブラであれ他の遊びであれアナログ・デジタル問わずやることなすこと全てを楽しみましたし面白がりました、それはもう盛大に。

ただ五十子としてあの場を好きたらしめていたのは、かつての副理事長である松浦さんから受け売られたところの「何もしないことをも許容される」ということでした。遊ぶにしても学ぶにしても人と関わるにしても是が非でも行為しなくてもよいのです。いつでもあれ「何かのため」であることを捨象できる自由があるのです。これは特記に値するよりむしろ暗黙裡に尊重されるべきみなものオリジナリティであります。

かようなことに紙幅を割いてきましたが別れの場をいただいたことに感謝いたします。それではみなさんごきげんよう。



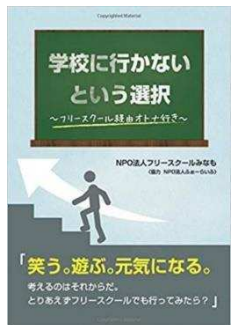
## ■なんと、みなもが、本を出した！（再掲）

はい、そんなわけで、みなもが本を出しました。みなもが活動を始めて15年、ようやくここまで来たか、という感じです(-.- 才)

タイトルは『学校へ行かないという選択～フリースクール経由オトナ行き～』  
神戸市垂水区のフリースクール、ふぉーらいふさんとの共著です。

書籍のコンセプトは「フリースクールの実態を『よいところも悪いところも客観的に』伝えたい」。フリースクールができること・得意なことはもちろん、できないこと・苦手なことも正直に。そして「想い」ではなく「機能」で語る、そんな一冊です。

2017年2月に『義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律』が公布されたのをはじめ、不登校やフリースクールに対する、世間からの見方は変化してきています。まだまだだんなくなつてはいないものの、一方的な批判の視線は、明らかに減ってきています。



そんな時代だからこそ、誇張なくありのままに、フリースクールの姿を正しく伝え直したい。そう思って仕上げたこの書籍、ご興味がありましたらぜひともお手にとってみて下さい。

■購入方法：AMAZONから購入できます。（右のQRコードより）

その他、みなもHPからもリンクがあります。



■参考：NPO法人ふぉーらいふ <http://fsforlife.sakura.ne.jp>